

**成田国内線の施設利用料
負担の半分が Jetstar-Japan 旅客に！
(影響額試算)**

成田空港会社は、来年3月から国内線にも「施設利用料」（運賃に上乗せ）を導入する方針を固めたと報じられている。

それに関して、2013年度の旅客実績をもとに影響額を試算してみた。

(料金案) 旅客当り 800 円程度 (LCC) ~900 円弱 (大手 2 社) いずれも往復で

(年間総額) 約 19 億円 (LCC11 億円、大手 2 社 8 億円)

Jetstar-Japan は 9 億円、大手の LCC 競合路線分は 5.5 億円

- ・ LCC 旅客全体での負担額が大きい
- ・ 中でも成田への国内線が多い Jetstar-Japan の旅客負担額が大きい
- ・ 運賃への相対的影響度も LCC が大きい
(国内線平均旅客単価/千キロ当り) ANA 17,520 円 JAL 16,720 円
Jetstar-Japan 6,680 円
- ・ 席数密度が高く、搭乗率も高い LCC は、便当たりの金額も大きい
(成田線搭乗率) 大手 2 社 58% Jetstar-Japan 77%

《2013年度の旅客実績と施設利用料の試算》

	羽田路線(LCC対応路線)				成田路線				うちJetstar -Japan 千人
	大手2社 (※1) 千人	SKY 千人	中堅3社 (※2) 千人	羽田計 千人	大手2社 (※3) 千人	SKY 千人	LCC 千人	成田計 千人	
札幌	6,755	851	1,345	8,951	331	163	686	1,180	489
大阪圏	6,262	495	431	7,188	478		417	895	300
福岡	6,050	1,173	709	7,932	258	89	566	913	472
沖縄	4,606	492		5,098	164	149	421	734	305
鹿児島等(※4)	4,990	369	696	6,055	0	369	582	951	582
LCC路線計(※5)	28,663	3,380	3,181	35,224	1,231	770	2,672	4,673	2,148
LCC未就航路線(成田=中部等)					537				
施設利用料影響額(百万円)					796				
LCC就航路線のみ					(554)				
《参考》									
(搭乗率)%(※6)					(58) (59) (72) (77)				

- ※1、※2 ANAのコートシェア便旅客は「中堅3社」に含む
 ※3 SKYは成田からの撤退を発表している
 ※4 鹿児島、大分、高松、松山路線
 ※5 LCCが就航している路線と、羽田発着の対応路線
 ※6 LCCが就航している路線での搭乗率

以上